

DEPARTURE TIMES

St. Valentine's day | Chamomile Soap | Event Guide

AMS : Association of Master Soapers

昨年の秋頃から、この春の認定講習会を目指してLessonを続けてこられた方々がいよいよ修了を迎えます。お仕事のスケジュール等でこの春の認定講習会に参加できない2名様は秋に先送りとなりましたが、今季はライブラ大阪校の生徒様も合わせて6名様がめでたく卒業となります。おめでとうございます。安全で楽しい石けんライフを！

Chamomile Soap

手作り石けん春夏秋冬

肌で感じる日本の四季

今月のマンスリーレッスンは、「カミツレの石けん」です。ハーブティー用のジャーマンカモミールのエキスを温浸法でオイルに抽出した冬にぴったりの石けんを作りましょう。

1Lesson¥6,000でも受講可。

Event Guide

昨年11月にグランフロント大阪 Panasonic ショールームにて開催され、好評を博した香りのイベントの第2弾が来月開催されます。1ヶ月前から事前予約開始となりますのでお見逃し無く。詳しくはBlog・HPをチェック！



St. Valentine's day

バレンタインデーが近くなると、甘いチョコレートの香りに誘われてついついGODIVAのショコリキサーを買ってしまう私です。お気に入りにはビター風味♥手作り石けんでもこの季節にはチョコレートの香りが大人気そうですね。コールドプロセス法で作る石けんだと、今からだとバレンタインデーまでに解禁できないので、お手軽にちょこっとだけ作れて、可愛いM&P (Melt & Pour) ソープを作ってみてはいかがでしょうか。作り方は、市販のMP ソープの素を必要な量だけ1cm程度に細かくカットして、耐熱容器に入れ、湯煎にかけるかレンジで溶かします。沸騰させないように注意。溶けたら、チョコレートのフレグランスオイルを適量入れます。この時に、お好みでカラージェルなどで色をつけても可愛いですね。生地が冷えて固まり始める前にお好みの型に流し入れます。静かに型に流し入れたら、無水エタノールをスプレーでひと拭きすると表面の泡が消えます。完全に固まったら型から外して、しばらく乾燥させておきましょう。なれてきたらマーブルにしたり2層にしたりしても可愛いですよ。



Allergic Constitution



Vegetable Oils

手作り石けんを楽しんでいる方のよくあるお悩み。

それはいろんな種類の植物油でキッチンの収納がいっぱいになってしまうことではないでしょうか？

手作り石けんのレシピで使う頻度が高いオイルNo.1といえば、やっぱりオリーブオイル。石けん作りだけではなくて、お料理にも使いこなして、どんどん身体の内側からも綺麗になりましょう！

オリーブオイル 超簡単レシピ

- フレーバーオイル・・・ジンジャーやガーリックをオリーブオイルに漬けて、パスタや炒め物に使う。（ガーリックの匂いが気になる場合はジンジャーだけでも十分美味しいですよ！これで豚肉を炒めると激ウマ。）
- ハーブオイル・・・ローズマリーやバジルなどを漬けて、ワインビネガーやクレイジーソルトなどとシェイクしてヘルシードレッシング。

オリーブオイルの香りが気になるという人は、太白ごま油に変えようと、繊細な和風料理にも合わせやすくなります。（必ず石けんで使うのと同じ、香りのない食用ごま油にしてくださいね。）

花粉、黄砂、PM 2.5など花粉症の人々にとっては辛い季節の到来です。アレルギー体質といっても人それぞれ症状に差があり、何に対してのアレルギーを持っているのかにもよりますが、基本的にアレルギー検査でスギ花粉、ヒノキ花粉などの季節性花粉以外に、ハウスダストアレルギーをお持ちの方は、家の埃だけでなく、黄砂やPM2.5とともに飛来する微粒子のダストにも反応するそうなので、アレルゲンから遠ざかる努力をしたほうが賢明です。とは言ってもずっと家の中に閉じこもっているわけにもいきませんから、外出時は帽子、マスク、サングラス（ゴーグルならなお良し、この際お洒落は後回しで。）などを着用し、外から帰ったら玄関先で上着を脱ぐなどするだけでも随分違うでしょう。また夜も眠れないくらい体調が悪くなってしまふ人は、洗濯物は布団やシーツ、パジャマ等も含めて出来るだけ外には干さず、部屋干しがおすすです。その上で、空気洗浄機は24時間稼働させてください。巷では花粉症に効くお茶やハーブなど毎年のようにいろいろ流行しますが、それだけで症状が緩和されるとは考えにくいです。そういった民間療法は日頃の健康維持の一環としてとらえ、耳鼻科医や眼科医、または皮膚科医のもとで指導を受けるのが賢明です。手作り石けんのレッスンでも常々申し上げるのですが、アレルギーを甘くみてはいけません。場合によってはアナフィラキシーショックといって命に関わるような事態に陥ることもあります。私の子どもが酷いアレルギー体質で苦労したのです。何かと憂鬱なこのシーズンを乗りきるにはアロマセラピーの精油で、上手に気分転換して下さいね！

